

科目名	GCB I					
科目名(英)	Global Citizen Basic I					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	東 まゆみ	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年					
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう			振り返りレポートの作成	
	2	「協働」の態度を持った学生生活			振り返りレポートの作成	
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～			振り返りレポートの作成	
	4	マナーの本質 I			振り返りレポートの作成	
	5	マナーの本質 II			振り返りレポートの作成	
	6	グローバルシティズンとしての日常			振り返りレポートの作成	
	7	グローバルシティズンとしての目標			振り返りレポートの作成	
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて			振り返りレポートの作成	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	レポート作成・発表				◎	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。					

科目名	Word						
科目名(英)	Word						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	浦川		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	Word2010を使用し、日本語の入力および文書処理能力を身につけ、ビジネスの現場で必要とされるレポートや報告書の作成活用能力の向上を図ることを目的として実施する。またビジネス文書作成の基礎的な技能を有していることを確認するためWord文書処理技能認定試験3級の合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			キーボードの文字位置を覚え、キーボードを見ずにタイピングをする。	
		○	○			ビジネス文書の基本的な構成を組み立てる。	
		○	○			Wordの編集操作を行い、様々な書式のビジネス文書を作成する。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・30時間でマスター Word2016 ・Word文書処理技能認定試験3級問題集 ・タイプクイック 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	正しいタイピング・Word基礎・文字入力・文字変換・文字修正				タイプクイックLesson1～6	
	2	正しいタイピング・Word基礎・短文入力・短文変換				タイプクイックLesson1～6	
	3	正しいタイピング・入力と編集				タイプクイックLesson1～6	
	4	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・基礎)				タイプクイックLesson1～6	
	5	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表)				タイプクイックLesson1～6	
	6	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・図解)				タイプクイックLesson1～6	
	7	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表・図解・イラスト)				タイプクイックLesson1～6 ⇒提出	
	8	検定対策(練習問題レベル1)				検定問題集の実施	
	9	検定対策(練習問題レベル2)				検定問題集の実施	
	10	検定対策(練習問題レベル3)				検定問題集の実施	
	11	検定対策(模擬問題レベル1)				検定問題集の実施	
	12	検定対策(模擬問題レベル2)				検定問題集の実施	
	13	検定対策(模擬問題レベル3)				検定問題集の実施	
	14	検定対策(サンプル問題)					
15	前期実技試験						
評価方法	(1)Word文書処理技能認定試験3級 (2)前期実技試験 (3)タイプクイック提出(Lesson6まで実施し、正確率95%とする) 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	Word文書処理技能認定試験		○	◎			50%
	前期実技試験		○	◎			40%
	タイプクイック提出			◎			10%
履修上の注意	操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する						

科目名	ウェディングセレモニー論A						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15時間	担当者	中村直輝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	2年次のブライダルコーディネーター技能検定(国家資格)に向けて、ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式や披露宴の基礎知識を身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ブライダル(婚礼)の定義・成り立ちを知り説明する事ができる。	
	○	○				ブライダルビジネスの関連業種及びエリア特性を知り説明する事ができる。	
	○	○				日本国内の結婚式と欧米での結婚式それぞれの特徴を学び説明ができる。	
	○	○				見合い・結納など結婚式を取り巻く関連儀式的理解を深め説明ができる。	
○	○				挙式の形式と流れを知り新郎新婦の要望に合った提案及び説明ができる。		
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード> ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	国家資格についての説明・LESSON1婚礼の定義について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	LESSON1日本の結婚式・欧米の結婚式について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	LESSON2ブライダルビジネスについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	LESSON2ブライダルの関連業種・エリアの特性について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	LESSON3見合い・婚約・結納について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	LESSON3挙式の形式:キリスト教式・神前式			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	LESSON3挙式の形式:仏前式・人前式			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	LESSON3披露宴・海外ウェディングについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業態度・出席率 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				80%
	授業態度・出席率				○		20%
履修上の注意							

科目名	ウェディングプラン演習								
科目名(英)									
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	中村				
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	冠婚葬祭セレモニー会社において披露宴 担当、ウェディングプランナーとして勤務				
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年								
授業概要	ウェディングプランナーとしてお客様に見積もりを作成できるように、婚礼商品の理解を深めプランニング方法を学び、お客様の希望するテーマに合わせた提案ができるようになる。								
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○					婚礼商品を知り説明する事ができる。			
	○					結婚式における見積もりの特性を知り説明する事ができる。			
	○	○				消費税や奉仕料の計算法を知り、正確に計算できる。			
	○					見積もりを作成するための必要事項を学び説明できる。			
	○	○				新郎新婦の要望に合ったプランニングをし提案及び説明ができる。			
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード> ブライダル用語辞典								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	国家資格についての説明・LESSON1婚礼の定義について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	2	LESSON1日本の結婚式・欧米の結婚式について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	3	LESSON2ブライダルビジネスについて				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	4	LESSON2ブライダルの関連業種・エリアの特性について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	5	LESSON3見合い・婚約・結納について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	6	LESSON3挙式の形式:キリスト教式・神前式				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	7	LESSON3挙式の形式:仏前式・人前式				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	8	LESSON3披露宴・海外ウェディングについて				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)授業態度・意欲以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	小テスト	◎	◎				50%		
	宿題・レポート	◎	◎	○			40%		
	授業態度				◎		10%		
履修上の注意									

科目名	カラーコーディネート演習A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	柴田知子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	身の回りの色に興味を持ち、パーソナルカラーの特徴を理解する。実習をとおしてアンダートーンの違いや、その人に合う色を見極める力を養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技: △			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					パーソナルカラーの基礎になる色の三属性やCUS表色系を理解することが出来る。	
	○					肌のしくみ、髪の毛のしくみ、目の構造を理解する。	
	○					パーソナルカラーの診断において、肌写りや目の輝きなど見極めることが出来る。	
	○					パーソナルカラーを分類しメイクやファッション、インテリアなどの配色に活かすことが出来る。	
○					パーソナルカラーのプレゼンテーション力を身につけることが出来る。		
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラリスト検定3級テキスト・カラーカード・COLOR Arrangement						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	パーソナルカラーとは				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	2	肌・髪・目のしくみ				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	3	パーソナルシーズンの特徴1				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	4	パーソナルシーズンの特徴2				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	5	パーソナルカラー診断1				課題プリント	
	6	パーソナルカラー診断2				課題プリント	
	7	パーソナルカラー診断3				課題プリント	
	8	パーソナルカラー診断まとめ				課題プリント	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)課題プリント4枚配布。(2)定期テストを実施する。(3)発表(プレゼンテーション)を実施する。 成績評価は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期テスト	◎	○				90点
	宿題・レポート	○					5%
	発表		○		○		5%
履修上の注意	出席が5回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	サービス接遇						
科目名(英)	Hospitality and Service proficiency						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	玉置 万理子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	ビジネスの場では、相手が快適であると感じる世話とか相手を感じがいいと思うような言葉遣いで、相手に満足を提供する行動である接遇ができる必要がある。この授業では、サービス業だけにとどまらず、すべてのビジネスシーンでの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などの知識習得とサービス接遇検定2級の合格をを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					サービススタッフの資質として必要とされる要件、従業要件を理解し述べられる。	
	○					専門知識として、サービス知識や従業知識を説明できる。	
	○					接客者として顧客心理を理解し、一般的なマナーを発揮し、話し方が述べられるようになる。	
	○					実務技能として問題の処理、環境整備、金品管理、社交業務を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	早稲田教育出版 サービス接遇検定2級受験ガイド 早稲田教育出版 サービス接遇検定1・2級実問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	検定試験問題39回(理論)解答解説 ・接遇の心構え			教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	敬語 ー 尊敬語、謙譲語、丁寧語 ・間違いやすい敬語表現			授業で使用したプリントを復習しておくこと		
	3	敬語 ー 敬語表現練習問題			授業で使用したプリントを復習しておくこと		
	4	敬語 ー お客様に言う丁寧な敬語表現			授業で使用したプリントを復習しておくこと		
	5	接遇の流れによる言葉遣いと動作			授業で使用したプリントを復習しておくこと		
	6	接遇の流れによる言葉遣いと動作			授業で使用したプリントを復習しておくこと		
	7	冠婚葬祭 ー 祝儀、不祝儀袋の決まりごと・記述のポイント			授業で使用したプリントを復習しておくこと		
	8	検定対策 ー 検定対策問題解答並びに解説(第40回)			検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。		
	9	検定対策 ー 検定対策問題解答並びに解説(第41回)			検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。		
	10	検定対策 ー 検定対策問題解答並びに解説(第42回)			検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。		
	11	検定対策 ー 検定対策問題解答並びに解説(第43回)			検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。		
	12	検定対策 ー 検定対策問題解答並びに解説(第44回)			検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。		
	13	検定対策 ー 検定対策問題解答並びに解説(第45回)			検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。		
	14	検定対策 ー 検定対策問題解答並びに解説(第46回)			検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。		
15	検定試験 解答並びに解説						
評価方法	(1)宿題をレポートを数回実施する。(2)定期試験を実施する。(3)検定結果以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					60%
	宿題・レポート	◎			◎		30%
	検定試験結果	◎					10%
履修上の注意							

科目名	ブライダルフラワー I A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	冠婚葬祭セレモニー会社においてウエディングフラワーコーディネーターとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・1年						
授業概要	生花の取り扱い方法を学び、行事に合ったアレンジや、TPOに合わせたアレンジができるようになる。また、アートフィッシュフラワーを使ってヘアコサージュ、ブートニアの作り方を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					生花の取り扱い方、花に合わせた水揚げの種類と方法を学ぶ。	
		○				実際にTPOに合わせて花材や花器を選ぶことができるようになる。	
			○			学内の指定された場所に合わせたアレンジができる。	
			○			行事の花(母の日)のアレンジができる。ヘアコサージュ、ブートニアが作れる。	
テキスト・教材 参考図書	ブライダル装美と演出・生花・造花・ワイヤー・フローラルテープ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス、テキストの説明。ブライダル実習室の使い方、道具の説明。場所に合わせた花器の選び方。			レストランやホテルなどにどのように花が活けてあるか意識して見る		
	2	場所に合わせたアレンジのやり方 I			活けた花の管理をする		
	3	花の種類による水揚げ方法、花と色の関係を学ぶ。季節による花の種類、花言葉を学ぶ。					
	4	行事の花(母の日)フラワーアレンジ作成(日比谷花壇企業連携)					
	5	場所に合わせたアレンジのやり方 II			活けた花の管理をする		
	6	大きさによるワイヤーのかけ方の違いを知り、ヘアコサージュを作成する。					
	7	ブートニアについてを学び、ブートニア、ポケットチーフの使い方を学ぶ					
	8	アートフィッシュフラワーによるブートニアを作る					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)最終授業の際、ノート提出により、作品のスケッチ、授業内容の記載がされているかチェックする。(3)6つの作品の完成したものを評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品	○	○	◎	◎		60%
	小テスト	◎	○				30%
	ノート提出	○	○				10%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、評価は不可とする。						

科目名	ブライダルメイクA						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	武田 真希		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	ブライダル業界に必要なメイクアップやヘアメイクに関する知識を学び、その価値を認識するとともに、社会人としての基本的なセルフヘアメイクの習得を目指す。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				メイクにおける基礎知識を覚える。	
			○			顔のパーツごとに適切なメイクを施すことができる。	
			○			シニヨン、夜会巻き等、ヘアスタイルを綺麗につくることができる。	
			○			メイク・ヘアを時間内にトータルで綺麗に仕上げることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	メイクの基本理論・ベースメイク理論				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	ベースメイク実践・アイブロウ理論、実践				前回のプリントを復習しておくこと	
	3	アイブロウ復習・アイメイク理論、実践				前回のプリントを復習し、各自練習しておくこと	
	4	アイメイク復習・リップ、チーク理論、実践・ヘア理論				前回のプリントを復習し、各自練習しておくこと	
	5	ヘア実践(シニヨンの種類と作り方、夜会巻きの作り方)				ヘアで使用する物を準備しておくこと	
	6	ヘア実践(シニヨン、夜会巻き 復習)				各自練習しておくこと	
	7	ヘアとメイクをトータルで仕上げる				各自練習しておくこと	
	8	トータル仕上げ、評価				各自練習しておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		実技試験・意欲努力	○	◎	○		50%
		復習実技テスト・授業態度	○		◎		50%
履修上の注意	授業に必要なものの忘れ物が無いように						

科目名	ブライダル産業演習A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	中村直輝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	実習(ホテル・ブライダル)と就職活動に向けて、ブライダル業界の企業研究を行い理解を深め、業種などの特徴も知る。実際のブライダル施設を見学し見識を広げ職業理解も深める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ブライダル業界での職種・職場を理解し説明できる。	
		○				ゼクシィなどの情報誌の見方を知り、自分自身で企業研究ができるようになる。	
	○	○				実習先及び周辺の施設を知る事で実習に生かすことができる。	
		○				ホテル・ブライダルの求める人財を知り自分自身の目標を明確にする。	
			○			実際のブライダル施設を見学し将来の職場のイメージができるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	芸文社 2020ブライダルのお仕事 ゼクシィ(福岡・佐賀版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ブライダル業界の職種理解を深める			ブライダルのお仕事「職種」の項を事前に読んでおく		
	2	ゼクシィ活用法(ブライダル業界における職場の種類)			事前にゼクシィを一通り目を通しておく		
	3	ブライダル企業の紹介ならびに企業調べ			ゼクシィにて気になる会場を調べておく		
	4	見学予定会場調べ					
	5	見学予定会場調べ(小テスト)			小テストを実施します。(ゼクシィ活用法)		
	6	ブライダル業界の求める人財について					
	7	ホテル業界の求める人財について					
	8	実習先調べ(施設・地域・周辺情報)					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを1回実施する (2)宿題・レポートを数回実施する。(3)授業態度(出席率・態度及び意欲) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート		◎	○			80%
	授業態度・出席率				◎		10%
	小テスト	○					10%
履修上の注意							

科目名	ホテル概論						
科目名(英)	Outline of Hotel Industry						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	郡 嶋 奨		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	ホテルにてフロント業務 として勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ホテル実習に向け、広くホテル全般や取り巻く環境等に関する知識を学ぶ。宿泊、料飲、宴会の各部門の業務理解を中心に、業界で働く上で知っておくべき代表的なホテル名や専門用語の習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホテル産業の特徴を把握し、シティホテルやリゾートホテルの環境の違いを説明することができる。	
		○				ホテルの組織を知り、役職名やその職域を理解し一般的な企業組織との違いが区別できる。	
		○				予約における販売経路を学び、旅行代理店や婚礼エージェントとホテルとの関係性を説明できる。	
		○				宿泊、料飲、宴会の主要業務について学び、ホテル実習で応用することができる。	
テキスト・教材 参考図書	現代ホテル理論、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業内容説明、評価方法 / ホテルとは(種類と歴史)					
	2	シティホテルとリゾートホテル					
	3	ホテルの組織と役職					
	4	ホテルの商品の販売経路(エージェント)					
	5	宿泊部門の概要(部署構成、客室タイプ、予約の流れ)				プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	フロントサービス、フロント、コンシェルジュ、ハウスキーピング				プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	料飲部門の概要				プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	宴会部門の概要、セールスプロモーション				プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テスト・レポートを1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト・レポート	○	◎				50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	レストランサービス演習						
科目名(英)	Restaurant service exercises						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ホテル実習で通用する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける料飲部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でも特にレストラン部門で必要な什器備品の名称やサービス方法についてを学ぶ。また、この授業の成果をホテル実習にて存分に発揮することができるよう、実践的な授業にて技術を磨く。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			レストランサービスに必要な身だしなみや基本動作を学び、実践することができる。	
	○					レストランでの接客用語や什器備品の名称を覚え、正確に答えることができる。	
			○			レストラン部門で必要な専門技術の方法を覚え、正確に実践することができる。	
	○					レストラン部門で必要な専門知識を身に付け、期末試験で合格点を取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル・レストランサービス技能協会監修 基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ホテルのレストラン部門について、身だしなみ、備品の場所				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	レストランでの基本姿勢と動作、接客用語				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	レストラン部門の組織、シルバーウェアについて				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	チャイナウェアについて、グラスウェアについて				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リネン類について、什器備品の取り扱い方法と磨き方				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	オープン前・クローズ後の業務、テーブルクロスのかけ方				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	テーブルクロスの交換方法、テーブルナフキンの折り方(基本)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	テーブルナフキンの折り方(応用)				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	テーブルセッティング				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	アテンド業務・オーダーテイク				9の授業項目が完璧にできるよう復習をしておくこと	
	11	トレイサービス				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	ドリンクサービス				11の授業項目が完璧にできるよう復習をしておくこと	
	13	お皿の持ち方、パッシング				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	代表的なサービス形式、サーバーの使い方				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
15	レストラン専門用語、正試験対策				正試験に向けて復習をしておくこと		
評価方法	(1)正試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況・授業態度				◎		50%
	正試験	◎					50%
履修上の注意	受講の際はレストランスタッフとしての身だしなみを意識し、整えた上で参加すること。 出席が10回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	合力 朱実		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
		○				地理や政治における基礎的な内容を理解し説明が出来る	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要説明(シラバス)				次回学習部分に目を通しておくこと	
	2	ROUND1: 国語(漢字の知識)、英語(動詞の活用変化)、社会(主な国際機関について、時事用語)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	3	ROUND2: 社会(環境問題、政治、宗教)、国語(漢字の知識)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	4	第1回実力テスト ROUND2: 英語(英文書き換え)、国語(敬語表現、文学史)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	5	ROUND3: 英語(単語の知識)、社会(憲法に関して、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	6	ROUND4: 社会(歴史、国際連合について)、国語(文学史)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	7	ROUND4: 社会(歴史、地理、時事問題)、計算問題(分数) ROUND5: 国語(漢字の知識)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	8	第2回実力テスト ROUND5: 社会(世界の発明家について)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)小テスト 以上のものに授業中の態度を加味し、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○		○		80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養 I A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・1年						
授業概要	学校のルールを学び、社会人になるにあたってのマナーを身につける。 就職試験のための作文の書き方を学ぶ。 実習についての意義内容を理解し、実習準備をする。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					学校のルールを学び、学校生活をスムーズに行なう。実習についてを理解する	
		○				作文の書き方を学び、課題の作文を書く。自己紹介シート作成	
				○		期日までに作文、自己紹介シートを作成する	
テキスト・教材 参考図書	学生便覧						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	学生便覧の内容を理解する					
	2	実習についての意義、実習内容、実習スケジュール説明					
	3	2年生より実習、寮についての話しを聞く					
	4	自己紹介シート下書き					
	5	自己紹介シート・身だしなみチェック					
	6	自己紹介シート清書					
	7	実習用写真撮影・身だしなみチェック					
	8	課題作文作成					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)提出の作文 (2)出席率にて 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文	○	○				90%
	出席				◎		10%
履修上の注意	出席が6回満たない場合は、単位修得できない。						

科目名	ホテル実習						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	320時間	担当者	郡嶋 奨		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	8週間にわたって、ホテルにおける就業体験を通して、実践的スキルを習得する。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホテルでの接客時に用いる敬語や言い回しを見え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				ホテル業界用語について学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
			○			個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各ホテルのルールに沿って業務できる。	
			○			配属先の業務を覚え、業務に必要な技術を身につけることでお客様に接客できる。	
テキスト・教材 参考図書	各ホテルの業務マニュアル、実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ~	各ホテルでの実習					
評価方法	(1)実習ノートの作成(学生)と現場スタッフによるコメント記入 (2)実習終了時の評価表作成(企業)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・評価表・出勤状況	○	○	○	○		100%
履修上の注意							